

# はじめに

千葉県営水道は、昭和11年に給水を開始して以来80年以上にわたり、市民生活や社会経済活動に欠かすことのできない水の安定供給に努めてまいりました。

この間、県営水道は県勢とともに発展を遂げ、成田国際空港、東京ディズニーリゾート、幕張メッセを中核とした幕張新都心や大規模住宅団地等の建設により給水人口が増加し、現在、千葉県民のおよそ半数にあたる約300万人の方々に水をお届けする大規模水道事業体となっています。

このパンフレットは、県営水道の事業概要や、水道水がご家庭の蛇口へ届くまでの仕組み、「千葉県営水道事業中期経営計画」の概要などを簡潔に紹介するものであり、水道事業に対する理解と関心を深めていただく一助となれば幸いです。

## 目次

1. 県営水道の概要 ..... 1
2. 県営水道の水源 ..... 2
3. 取水から家庭まで ..... 3
4. 浄水場のしくみ ..... 4
5. 水道水の安全管理 ..... 6
6. 千葉県営水道事業中期経営計画  
(令和3年度～令和7年度) ..... 8

ならまた  
(奈良俣ダム)

# 1. 県営水道の概要

## 給水区域

県営水道の給水区域は11市にわたり、その広さは約566km<sup>2</sup>(県面積の約11%)に及んでいます。

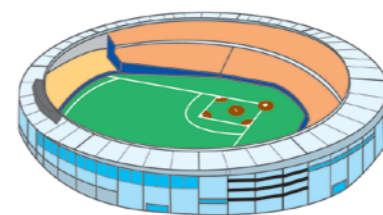
(千葉市、市川市、船橋市、松戸市、習志野市、市原市、鎌ヶ谷市、浦安市、成田市、印西市、白井市)

## 給水人口と給水量等の推移

令和3年3月末現在の給水人口は、3,062,104人(県人口の約49%)、普及率は96.5%に達しています。

令和2年度の給水状況は、一日最大998,937m<sup>3</sup>(ZOZOマリスタジアム約1杯分)、年間では約3億2,227万m<sup>3</sup>になっています。また、用途別使用量では、家庭用が約90%を占めています。

ZOZOマリスタジアム



(1杯約106万m<sup>3</sup>)

